

千葉県カーボンニュートラル推進方針(素案)からの主な修正項目

該当頁	意見の内容	修正内容
1	DX、SDGs について、英語略には説明が必要ではないか。	DX については以下のとおり注釈を追加。SDGs については、注釈のページを変更（P4⇒P 1）。 ○DX デジタル・トランスフォーメーションのこと。デジタル技術の活用による新たな商品・サービスの提供、新たなビジネスモデルの開発を通して、社会組織や組織文化なども変革していくような取組のこと。
3	中期的な取組に掲げている「再生可能エネルギーの最大限の導入と活用、省エネルギーの促進」については、2030 年度以降も必要であり、表現を改めるべき。	以下のとおり、修正および追記 ○中期的に <u>進める主な取組</u> （～2030 年度） ○長期的に <u>進める主な取組</u> （2030 年度～） ・ <u>技術革新を踏まえた再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの更なる促進</u>
3	注釈の誤記	注釈を修正 新たな付加価値を生み出し続けようとする経済システムのこと
4	【現状と課題】に以下を追加提案 ○一方で、太陽光発電の設置に当たっては、住民の生活環境への影響の観点で地域トラブルの要因となることも見受けられるため、立地場所や周辺環境に配慮しながら導入を促進する必要があります。 <u>また天候等で出力が変動することから、導入拡大にあたっては蓄電池やコージェネレーションシステム等の調整電源も組み合わせる必要があります。</u>	P4【現状と課題】に以下を追記 ○太陽光発電は、気象条件等による出力変動が生じることから調整力の確保が必要です。 P7【取組の方向性】に以下を追記。 ○再生可能エネルギーの主軸となる太陽光発電について、立地や周辺環境に配慮しながら、最大限の導入を推進していきます。 <u>また、創った電力の有効活用や災害時の電源確保のため、蓄電池等の導入も併せて推進していきます。</u>

該当頁	意見の内容	修正内容
5	390.6MW を 403.0MW とすべき 発電事業者の認定を受けた公募占用計画では、 13MW×31 基に変更されたため。	以下のとおり修正 発電設備出力 <u>403.0MW</u>
1 1	合成メタン (e-methane) の実用化 (メタネーション) について用語の説明が必要	注釈を以下のとおり追加 ○合成メタン (e-methane) 合成燃料の一種で、CO ₂ と水素を合成して製造したメタンのこと。e-methane (イーメタン) : グリーン水素等の非化石エネルギーを原料として製造された合成メタンに対して用いる呼称のこと。 ○メタネーション CO ₂ と水素を合成して都市ガスの主成分であるメタンを製造する技術のこと。
1 4	「ラストワンマイル」に注釈が必要	注釈を以下のとおり追加 顧客に物・サービスが到達する最後の区間のこと。
1 5 注釈	修正	根拠データの時点修正 「製油所装置能力」(2022 年 <u>3 月</u> 末現在) ⇒「製油所装置能力」(2022 年 <u>10 月</u> 末現在)
1 6	ICT・AI について用語の説明が必要	注釈を以下のとおり追加 ○ICT Information and Communication Technology の略称、情報通信技術のこと。 ○AI Artificial Intelligence の略称、人工知能こと。ICT や AI 等の先端技術がロボットトラクター等に活用される。

該当頁	意見の内容	修正内容
1 6 注釈	「原料の木や炭などに含まれる炭素は、そのままだと土壤中で微生物等に分解され CO ₂ として放出されるが」「炭」は分解されないのではないかな。	バイオ炭の注釈を以下のとおり修正 原料の木や <u>竹</u> などに含まれる炭素は、そのままだと土壤中で微生物等に分解され CO ₂ として放出されるが・ ・
1 8	環境審議会企画政策部会の委員より、吸収源対策をもう少し示した方が良いとの意見があったため、	【現状と課題】に以下を追加 ブルーカーボンについては、CO ₂ 吸収・固定量の計測方法の検討やクレジット制度（J-ブルークレジット）の試行がされています。
2 1	【現状と課題】に以下の追加を提案 ○エネルギーの効果的な利用やレジリエンスの向上の観点から、 <u>千葉県国土強靱化地域計画</u> に沿って、太陽光発電やバイオマス発電等の再生可能エネルギーを活用した <u>自立・分散型エネルギーの導入によって、地域マイクログリッドの構築を進める必要があります。</u>	注釈を以下のとおり修正 災害で広域的な停電が起こるような状況になった際に、太陽光発電などの再生可能エネルギーや蓄電池等の <u>自立・分散型エネルギー</u> を活用し、限られた地域の中で電気の自給自足ができるエネルギーシステムのこと。
2 2	テレワークによりトータルのエネルギー消費量が減るのか増えるのか、その根拠を示すべき	注釈を以下のとおり追加 国では、テレワーク導入による家庭での電力消費量増加（一人当たり 29%増加）を考慮しても、オフィス・家庭全体での電力消費量は、一人当たり 14%削減可能と試算。

該当頁	意見の内容	修正内容
2 4	循環経済の考え方には廃棄物の概念がないので、食品ロスの徹底した削減が循環経済に含まれるような表現は修正が必要。	意見を踏まえ、以下のとおり修正 ワンウェイプラスチックの削減、廃プラスチックのリサイクルチェーンの構築を推進するとともに、食品ロスの徹底した削減や <u>食品リサイクル</u> などを通じて、循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行を推進します
2 5	修正	他と表記を合わせるため、「○千葉市」を追加 (修正前) バイオマス熱ボイラー導入し・・・ ⇒ (修正後) バイオマス熱ボイラー <u>を</u> 導入し・・・
2 7	【これまでの取組事例】を修正 指定避難場所⇒指定避難所	意見のとおりに修正